

オブデス フリースタイル規定書

改定：2020 年 9 月 1 日より

2020 年秋からの変更点

この度、昨今のフリースタイル事情を考慮し、クラス編成を変更することにいたしました。
また、これに伴い各クラスの合格点の排除、クラス昇格制度の見直しをおこないました。

OPDES フリースタイル

クラス編成の変更について、2020 年秋からレギュラークラスを 2 クラスにいたします。

※ノービスクラス（今までのビギナーやノービスクラス）

※アドバンスクラス（今までのインターメディエイト・アドバンスクラス）

※ハンディダンディ サッシーシニアクラスを無くします。

（各クラスに該当するペアーが参加する際、技術点に 1 点の加算がされます。）

HTM

ノービスクラス：最低ポジション数 3 ルーティンタイム：2 分 00 秒～4 分 00 秒

アドバンスクラス：最低ポジション数 6 ルーティンタイム：2 分 30 秒～4 分 00 秒

MF

ノービスクラス アドバンスクラス共に人犬共に安全で危険を伴わず行える動作を許容する。

合格点の排除及び昇格制度について

出陳クラスは自己申告ですが、下記の方のみ昇格制度を取り入れます

当協会コンペティションにおいて、ノービスクラス上位入賞（1 位から 3 位まで）を（通算で）2 回獲得したらアドバンスへ昇格してください。

以上。

NPO 法人 犬の総合教育推進機構：OPDES（以下、OPDES）制定の規約及びガイドラインは、競技者がルーティンを創作するための指針となり、また OPDES 主催のイベントや競技会での判定基準となります。

全般規程

- 競技会場における一切の出来事は本犬所有者の責任とし、関係者（主催者・審査員・施設管理者・競技会役員・スタッフ）に責任を問う事は出来ません。
- 出場する犬は狂犬病予防注射を接種済みであり、その効力は大会期間中有効でなければならない。また、証明書の提出を求められたら速やかに提出する事。証明書の提出が無い場合は、成績の取り消しになる場合が有り、エントリー料金も返金されません。
- 心身共に健康な犬が参加することが出来る。動物福祉の観点から参加を拒否することがある。
- 血統書のあるなしに関わらず全ての犬種が参加できる。
- 審査に対して抗議や非難をしないこと。公開、非公開を問わず SNS などでも行わない。
- 競技会やイベントに関して意見がある場合は、本会宛てに文書にて問い合わせを行って下さい。公開、非公開を問わず SNS 上においても問い合わせの件に関する記事を投稿したり、議論したり、意見を集めたりしないでください。
- 規程が守られなかった場合は、出場停止・退会・注意勧告などの措置が取られる事があります。
- 許可された範囲で撮影（動画・静止画）録音ができる。

参加者、及び、出場犬に関して

（全般）

ハンドラーはスポーツマンシップに則り、また、愛犬家としてのルールを守って競技に参加して下さい。

主審査員が審査（会場）における諸問題、および、規定されていない部分など全ての権限を持って審査にあたり、コンペが参加者参加犬観覧者にとって好ましいものとなるよう努力する。

チョークカラー・スパイクカラー・ヘッドカラー・電気カラーなどを装着した犬は、終日会場の立ち入り禁止とします。競技参加犬、及び、競技参加者が前記の器具を装着した犬を会場付近でつれているのを見かけた場合は、競技会参加取り消しとなる場合がある。使用に際しては、使用施設の決まりに従う。

犬に苦痛を与えたり、観客に不快感を与えるような用具使用や発声（例：人の声、意図的に犬の鳴き声を出させる）の禁止

（参加者：ハンドラー、観衆）

反社会勢力に所属するものは参加出来ない。また、政治的な主張を表す演技や卑猥な演技は禁止とする。

参加者は、競技施設にいる間、愛犬家として適切な行動を取らなければならない。

観衆は指示された場所で観戦し、演技に影響を及ぼすと思われる事は一切行ってはならない。注意を受けたときは速やかに指示に従い、会場からの退場を言い渡されたときは会場に入っては行けない。（程度により、後日または即時、法的な対応を取る場合がある。）

すべての参加者は、規定、規則、および、主審査員・競技会要員の指示に従わなければならない。

規則に従わなかったり、不適切な行動を取ったりした場合、失格となることがある。

会場設営中または設置後は、ハンドラーは指定されたトレーニング時間を除いて、犬を伴って競技リングに入ることは許されない。

フードや遊具などトレーニング用具や演技と関係ない全ての用具の使用は禁止。

使用可能エリア以外でのトリーツの使用

(ハンドラーの障害)
競技申込時に申告が必要

(参加犬)
全ての犬種の6か月齢以上の犬に出場の機会が与えられるが、発情中の犬は原則として出場できない。(ただし、競技主催者の判断で、全ての演技が終了した後に審査する事がある。その場合も審査直前まで、本リンク・控えリンク内での練習その他は許可されない。)

伝染病、感染症にかかっている犬、腸内寄生虫、疥癬、その他害虫がいる犬は、競技会に参加することはできない。

妊娠した雌犬は、競技することはできず、産後3ヵ月以内の犬も同様である。
不明確な場合、獣医による証明書を提出するよう求められることがある。
(妊娠犬、及び、産後経過日数の足りない犬の競技成績は取り消され、エントリー費は返金されず、次回エントリーする競技会では誓約書・(診断書)の提出が必要となる。)

去勢・避妊された犬の出場は問題ありません。
(獣医師により正しく不妊処置をしている犬は出場できます。)

現在、日本国内においては、断尾または断耳された犬は出場することが出来ます。
(世界的な情勢により、断尾、断耳しないことが望ましい)

病気や怪我で外観が変化した犬(例：耳の欠損、尻尾の欠損、脚の欠損)の出場は出場確認が必要となる。

一般的にトリミングを行わない犬種の場合、過度な毛のカットを行っている場合は、理由を問うことがあります。

halter使用での演技は禁止。

発光する物の装着

犬のカラーリング・ネイルカラーなどの禁止。

演技の表現に必要な最小限のネックカラーやバックルカラー、アンクルバンド以外の犬への装飾品については、審査員がその都度判断し禁止する場合がある。

装飾、小道具に生き物を使う事は禁止。

リング内で首輪を装着する場合は、1つの首輪のみが許される。
首輪には装飾を施すことができるが、犬の動きを制限しないものとする。

リング外での移動や待機は、ハーネス・首輪を装着する。
口輪を使用する場合、犬が自由に飲んだり呼吸したりできるものでなければならない。

犬の視界を確保するため、長毛犬(頭部)にゴム製のヘアバンドを使用することは許される。
ヘアバンドは、主に犬の可視性を改善することを目的とし、装飾とみなされるべきではない。
犬の毛色に沿ったラッピングペーパーは使用可

演技する際、犬に服を着せることは禁じます。

小道具は原則ハンドラーが設置および撤去を行う。障害のあるハンドラーが車いすなどを使用して参加する場合、道具設置を手伝うことが出来る。(一人のみ、健常者が設置する場合に準ずる)

すべての小道具は演技に不可欠でなければならない。

(犬の障害)

障害のある犬も参加できるが、競技会事務局に事前に連絡し確認する。
最低限の条件としては、自力で移動が出来る事(補助具を使用することも可)

競技に関する規程

(会場)

室内が望ましく、床材も犬とハンドラーにとって演技しやすいものが望ましい。

(リンクについて)

リンクサイズ (最大演技空間)
12m × 20mを標準サイズとし 10m × 15m以上を確保できる事が望ましい。
国内において規定のリンクが設定できない場合は、8m × 10mを最小リングサイズとする。
リングは演技空間から四方に 1mの距離をおいて、柵状のもので分離されなければならない。

リンク入り口には、ホワイエを設置する。
ホワイエでは、トリーツを与えることは出来ない。(イノベーションクラスを除く)

練習リンクと指定された場所では、トリーツなどを与えることが出来る。

(観客席、審査員席、スタッフ席)

審査員席は、リンクの正面が望ましいが、側面でも構わない。
観客席は、リンクから適切な距離を空け、クレートの設置場所も会場での指示に従う。

(MF)

ミュージカルフリースタイル Musical Free Style (略号：MF)
犬とハンドラーが調和の取れたステップ、ムーブ、演技、振り付けなどを音楽にのせてより美しく芸術的に表現する。パートナーである犬にとって、肉体的な痛みや怪我の原因とならない限りにおいて、どのような動きも使う事が出来る。競技において総合点が同じ場合は、芸術点の高い方が上位となる。

(HTM)

ヒールワーク トゥ ミュージック Heelwork to Music (略号：HTM)
主にハンドラーと犬の正確なポジションやムーブを、調和のとれた美しいステップラインで技術的に表現する。競技において総合点が同じ場合は、技術点の高い方が上位となる

ヒールワーク トゥ ミュージックの概要
演技開始後の 10 秒間に、犬が維持したポジションをヒールワークポジションとして定義する。
犬がその場でのスピンに必要とする空間を目安として、全ての競技をこなす。(演技空間)
演技空間内である限り、後ろ脚で立っての演技は許容されるが、後ろ足でのジャンプは禁止とする。

股下をポジションとしては認めませんが、股下の演技(ウィーブなど)を認める事とします。(2018年4月より)

「OPDESのHTMの解釈補足」

OPDESでは、すべてのポジションについて、正確に維持した状態でハンドラーが5歩以上歩き、その間、犬は4足歩行を行うことをヒールワーク作業と定義し、ヒールワーク作業が70%以上で構成されたルーティンを奨励しています。

(タイム計測)

タイムは犬かハンドラーが動き始めた時点から、双方の動きが終わった時点までを計測し、前後に10秒の誤差は許されるが、大幅な超過タイムは減点または失格となる。

(音楽)

音源は CD とする。作成した後はいくつかの機器でテストして再生されるか確認することが望ましい。万が一、コンペで再生できない場合は、SD カードや USB メモリースマートフォンなどからの再生を試みるが、補償は出来ないものとする。

(ハンドラーの衣装)

演技にあった衣装が望ましい。
演技後・演技中に装飾品などの落下がないようにする。
性的アピールの強い衣装は禁止とする。
犬の動きや視界をさえぎらない衣装

(リード)

リンク入場時にはノーリードで入場する。
抱いて入場する、首輪を持って入場する、等は禁止。
ホワイエに待たせて、リンク内に呼び込むことは問題ありません。

(モチベーター)

使用ルールを守ること

(クラス編成)

表を参照のこと

(減点)

コスチューム/プロップの誤使用 (Improper use of Costume/Prop)
吠え (Barking)
身体的な強制 (Physical Manipulation)
ルーティーンタイムの遵守(Routine Time)
演技空間外に出る(HTM のみ)
(その他)演技中の持来行為は、演技構成上必要と認められるものに関してのみ許される。
有効とみなされない場合は、減点の対象となる。

(失格)

申請と異なるハンドラーまたは犬が参加している。
ドーピング規定を遵守していない。
リング内にフードを持ち込む。リング内に食べ物・おもちゃ等のご褒美、訓練用具を持ち込んだり、与えてたりしてはいけない。
犬が制御不能でリングを離れる。犬が作業継続中に誤ってリング外に出た場合
犬がリング内で排尿したり排便したりした場合。
競技を棄権したり途中でやめたりすることは出来るが、採点された後でその競技の取り消しは出来ない。競技を途中でトレーニングラウンドに変える場合は、ジャッジに向かって明らかに分かるように止める旨のサインをだすこと。
手荒な扱いは、いかなる形態(口頭もしくは物理的)も容認されない。
犬が会場やリンク周辺で別の犬や人を攻撃した場合。
リング内で競技中に引き綱を着けている。
犬を抱く、首輪を持つ、等 犬の動きを物理的に制御して入退場は禁止とする。
リング外からの補助があった場合
犬をコントロールするための接触。(犬からの接触は、ハンドラーが安全である限り問題とならない)
リングからの逸走

訓練用具(食べ物、おもちゃ、ターゲットスティック、クリッカーなど)の使用、リング内での排泄、チョーク/スパイクカラーの使用(会場施設内での使用禁止)、これらは直ちにリンクから退場となります。
排泄をしてしまった場合(直ちにリンクから退場)
禁止事項違反者

(禁止事項)

犬の不適切な扱い、審査員・スタッフ・観客に対する暴言

(表彰)

表彰は各クラスで上位 3 席まで。

イノベーションクラスは、表彰を行いません。

最優秀技術点賞・最優秀芸術点賞は、該当する大会で技術点と芸術点、それぞれの最高得点のペアに授与します。ただし、HTM（ノービス＋アドバンス）、MF（ノービス＋アドバンス）、それぞれのエントリー数が 30 頭以上の時とします。

大会に応じた特別賞を設定し授与します。

(その他の事項)

災害による競技会の中止・延期

自然災害などで競技会を中止・延期にする際は、ホームページなどで中止の案内を行います。

参加者自身の理由（病気、怪我、犬の体調不良）で欠席の場合は返金できません。

参加拒否

反社会勢力に属する者、刑罰を受け執行猶予中の者は参加することが出来ません。また、参加した後素性が分かった場合は、成績の取り消し、及び、損害賠償を求めることがあります。

参加賞

原則、参加賞はありません。

エントリー費

	OPDES 会員	OPDES 非会員
イノベーションクラス	4,000	6,000
ノービスクラス	8,000	10,000
アドバンスクラス	8,000	

※ 上記エントリー費は、基本的なエントリー費で諸事情により変更されることがあります。（大会案内書に記載されます）

※ 特別クラスを設けた場合、特別クラスのエントリー費は、競技会ごとに定めます。

(撮影)

競技会において各参加者は、自身のルーティンに限り、家族・友人等に撮影の依頼をしていただく事が出来ます。ご自身及び出場者のルーティン動画を YouTube 等の動画サイトや、Facebook・Twitter 等の SNS などでも共有・公開する事に関しては、著作権や肖像権などに注意し全て自己責任で行って下さい。

記録として撮影する場合がありますが、動画の販売やコピーなどには行いません。

(規定の補足)

規定されていない事項について問題が生じた場合、ジャッジおよび競技会事務局の判断で決定します。

注意・禁止事項

締切日までにご入金をお済ませください。

締切日以降のクラス変更は、原則出来ません。

締切日以降にキャンセルされた場合は返金されません。

一般の来場者に迷惑の掛からない様、お願いいたします。

御愛犬の排泄物や出たゴミ類は確実に所有者がお持ち帰りください。

駐車場及び会場の利用に関しては、主催者及び会場係りの指示に従って下さい。

喫煙される方は、決められた場所で喫煙して下さい。吸い殻や火の後始末にもお気をつけ下さい。

ご愛犬について適切に管理して下さい。車中待機させる場合は、熱中症に気をつける・こまめに様子を見に行くなど、安全管理にお気をつけ下さい。

貴重品の管理にお気をつけ下さい。

大会開催場所もしくは会場付近での、ビラの配布、署名応募活動等の大会目的外活動は固くお断りいたします。

[同意事項]（競技参加者は下記の事項に同意する必要がある）

今大会で撮影した動画および画像について、下記の定める使用範囲において無償で使用することに同意します。

[使用範囲]

私はインターネット、他、あらゆる媒体で使用される事を許可致します。

本動画及び本画像の選択、光化学創作、変形等に対して異議申し立て致しません。

本動画及び本画像の使用地域を制限致しません。

本動画及び本画像の使用期限を制限致しません。

本動画及び本画像のデータ、それを出力した印刷物等の提供を求めません。

また、本動画及び本画像を使用した貴機構または貴機構が指名した者の作品、作品の見本に提供を求めません。

上記に記載した内容について偽りが無いことを保障した上、大会案内書記載の注意・禁止事項を厳守することを誓い出陳していただきます。

クラスについて

スタイル	クラス	備考
MF・HTM の 区別なし	イノベーション	正式競技ではありませんが、全てのカテゴリーの重複出陳が可能です。モチベーター(遊具・トリーツ等)の使用やリードの装着を認めます。演技中にモチベーター（トリーツ）を与えても構いませんが(トリーツを落とさないように注意して下さい)、リード等の直接的な使用は禁止となります。 ジャッジシートをお渡しいたします。
MF HTM	ノービス	TT の資格は不要
	アドバンス	TT1 or TT2 の資格が必要
犬が 9 歳以上、または、ハンドラーが 65 歳以上、または、犬もしくはハンドラーが障害を持つ（参加承認が条件）場合は、技術点に 1 点加算される。		

※イノベーションクラスは、昇格に関係なく重複して出場することが出来ます。

※上記以外にも特別クラスを導入する場合があります。

ルーティンタイム

INNOVATION (I)	2 分 00 秒～4 分 00 秒
Novice(N)	2 分 00 秒～4 分 00 秒
Advanced(A)	2 分 30 秒～4 分 00 秒

国内審査基準（技術点(10 点)と芸術点(10 点)の合計 20 点満点)

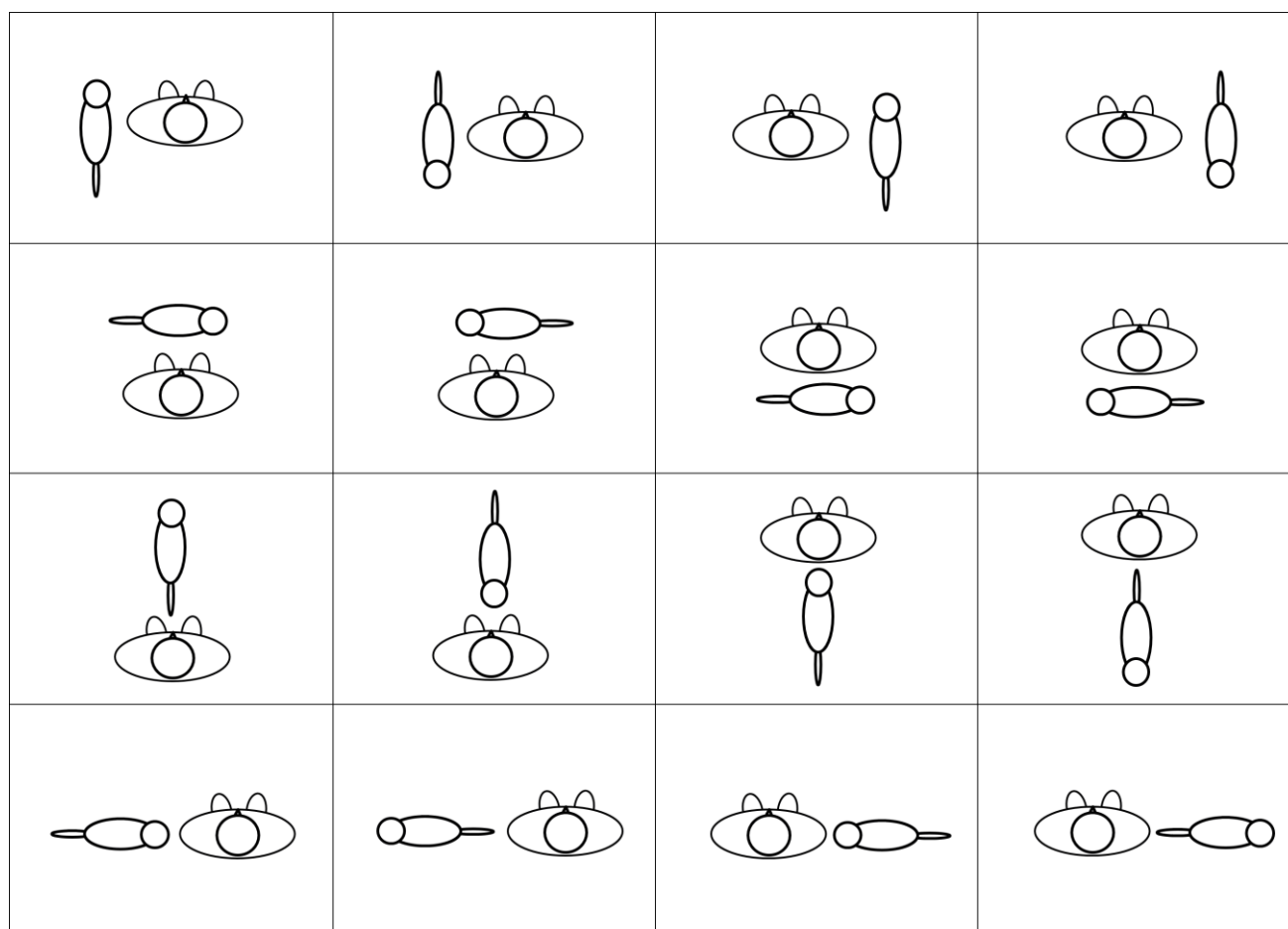
Technical Merit 技術点(10 点)

難易度 (Difficulty)	3
構成要素 (Content)	3
完成度 (Execution)	2
滑らかさ (Flow)	2

Artistic Impression 芸術点(10 点)

ルーティンの概念 (Concept)	3
動性 (Dynamism)	3
デザイン (Design)	2
リズム (Rhythm)	2

HTM のポジションの解釈を下記の通り、16 ポジションと限定します。



ハンドラーと犬の距離は一定であり、離れすぎずついている状態が望ましい。
ハンドラーの移動に伴い指示したポジションの理想型に近い移動が望ましい。
自然な姿勢で移動スピードに合わせた明確な四足歩行が望ましい。

HTM におけるポジションの必須採用条件について

ノービスクラス	3 ポジション以上
アドバンスクラス	6 ポジション以上